

【オープンから半年】
これまでと未来の話



この日の活動

「野菜の収穫と木工作业—marugo-toブロックづくり」



この日収穫した野菜は「菜っ葉」「白菜」「長ネギ」「ほうれん草」。収穫する野菜の種類を通して、四季が感じられる。



製品化されたmarugo-toブロックの在庫も少なく、この日も木材のカットからブロックの磨き作業まで取り組む。

オープンしての半年を振り返る 「運営するメンバーに話を聞きました」

—オープンしてからの半年を振り返ってみて—

あっという間に半年経っていたという感じで、今に至っている。まずは、夏を無事に乗り越えられたことが一つ大きい。みなさん(周りの関係者の方)から心配もいただいていたが、開催時間の変更(午前開催ではなく夕方開催)をするなど、柔軟に運営が出来たことで、夏でも開催できる工夫や経験ができた。

この半年間の活動を通して、色々なつながりやネットワークができたことが一つの財産。今まで接点がないような方とも、この場所を通じて知り合えることができた。

【話を聞いた人】

marugo-to代表 岩崎 氏、西蒲区社協職員

一次の半年に向けて—

次は無事に冬を乗り切ることが一つの目標。夏を経験するのも初めてだったが、冬を経験するのも初めてのことになる。冬を乗り越え、オープン1周年を迎える時には一年の運営の流れを掴むことができる。

今後は新しい野菜の品種の栽培や新たに米づくりにも取り組んでいこうと考えている。

編集後記

marugo-toがオープンして半年。ビニールハウスを活用した新しい居場所の形は進化を続けている。これから冬の経験を重ねることで、課題の発見と解決を繰り返し、次の段階へ進む。

